

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年6月13日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部 国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年6月4日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	フランス
留学先大学	リール・カトリック大学(日本語名) Université Catholique de Lille(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語・フランス語/英語・フランス語
留学期間	2023年8月～2024年6月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名:人文学部・欧州政治社会科学部 現地言語での名称:Faculté des Lettres et Sciences Humaines・European School of Political and Social Science <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期:4月上旬～7月下旬 2学期:9月中旬～2月上旬	1学期:9月上旬～12月下旬 2学期:1月中旬～6月上旬 3学期:～ 4学期:～
学生数	40,000
創立年	1875

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料		円	交換留学のため授業料なし
宿舍費	約 6048	約 1,028,500 円	€549 × 11 ヶ月間
食費	約 2000	約 340,000 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	約 160	約 27,200 円	通信費＋ルーター代＋SIM カード代
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		約 131,900 円	形態:住宅保険＋海外旅行保険
渡航旅費	約 1880	約 320,000 円	AirFrance 直行便、オープンチケット
ビザ申請費		32,600 円	申請費用€50＋15600 円＋有効化費用 €50
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	約 10,088	1,880,200 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 羽田 目的地: CDG 経由地: なし 復路 出発地: CDG 目的地: 羽田 経由地: なし
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: AirFrance 料金: 約 32 万円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: AirFrance 公式アプリ) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Valentine Charrondière) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
留学先大学から案内された All logement というサイトから探した。 申し込みは先着順のため、申し込み期間の前に第 5 希望までは決めていた方がよい。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
大学からの近さ(メインキャンパスの隣)とシャワー付きの部屋という条件で決めたが、正直それ以外の利点は家賃に光熱費と水道代が含まれていることとトイレ掃除をしなくて良いことくらいしかなかったように感じる。 私は 1 階の比較的大きな部屋を使うことができたが、2 階以上のシャワーがついていない部屋は家賃に対して非常に狭い。また何故か停電がかなりの頻度で発生するためテスト期間なのに WiFi が使えなくなったり、冷蔵庫に入れていた食材が傷んでしまったりと不便なことが何度もあった。また全体的に寮があまり綺麗でないので、キッチンやゴミ捨て場にネズミや蠅が大量に湧いたりしていた。 大学からの近さと寮の人数で選ぶならば、この寮とメインキャンパスを挟んで対の位置にある Denis Reille が全部屋にバスタブとトイレがついていて部屋もある程度の大きさがあり、朝食も寮の 0 階で提供されて移動する必要がないため、そちらを選んだ方が快適に生活できると思う(但し、Denis Reille は自身で電気と水道を契約しなければいけないので注意)。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: 住宅保険を契約したにも関わらず契約書が送られてこなかった。契約書がないと寮の鍵をもらえないため、10 回以上保険会社(SMENO)に問い合わせを繰り返してやっと契約書を送ってもらうことができた。

日本から送ってもらった荷物が寮の事務所に届かずに日本に送り返されてしまった時は、la poste に電話をかけたがオペレーターに英語を話せる人がいなかったため現地の友人に通訳してもらいながら電話をした。ちなみに記述すると、la poste で荷物がきちんと届くことはあまりないので期待しない方がいい。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

フランス国内の危険地域情報は大使館から送られてくるメールで確認していた。盗難にはあった事がなかったが、鞆は常に体の前にして、外から開けられないように開け口を自分の体の方にしてかけていた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

free mobile のSIM を利用していたが、安いので場所によっては繋がらないことがよくあった。特にイギリスとイタリアに行った時は、ローミングできる回線が少ないのか圏外になることがよくあって困った。

また前述したように寮がよく停電したため WiFi も使えなくなることがよくあった。停電していなくても突然 WiFi だけ切れてしまったりすることが1ヶ月に2回はあった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で事前に両替した現金とクレジットカードを持っていった。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

基本的にあったら便利だなど思うものはフランスには無いため、100均で変える生活に便利なものは持っていった方が良くと思う(S字フックやトラベルクッカーなど)。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Business English	ビジネス英語入門
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	通年
単位数	3 ECTS per sem
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+WS(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	ZUMMO Anouska
授業内容	ビジネスにおける英語の語彙や表現に加え、面接やクレーム対応の方法などを学んだ。
試験・課題等	秋学期は中間試験がメールの writing、期末試験がプレゼンで、春学期は中間試験にプレゼン、期末試験にコンサルの writing をやった。課題については出る時と出ない時がある。writing の課題は次週に google doc に提出し、授業内で添削された。
感想を自由記入	想像していた授業と違い内容が少し実践的で面白かった。イギリス人の先生なので少し発音に特徴があり早口だが、とても優しく困っていることがあれば聞けば答えてくれるのでおすすめの授業。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intercultural Communication	異文化コミュニケーション
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	通年
単位数	2 ECTS per sem
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+WS(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Hartmann Heide
授業内容	異文化交流において人がどう成長していくか、異文化に慣れるためにはどんな課題を解決しなければいけないのかななどを、留学生が実際に経験談を話したりしながら学んでいく。
試験・課題等	授業回数が少ないので中間と期末のスパンが短い。秋学期は中間に個人レポート、期末にグループプレゼン、春学期は中間にグループでレポート、期末に筆記テストを受けた。
感想を自由記入	明治大学の「ダイバーシティと社会」の授業少しだけ雰囲気に近い。明確な正解不正解が無いので、レポートもテストも自分が思っていることや経験したことを授業で触れられたことに絡めて書けば良いと思う。穏やかな先生だがドイツ出身なので時間には少し厳しい。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English Grammar	英語文法
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	通年
単位数	3 ECTS per semester
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+WS(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が2回
担当教授	MESNILGRETE Maite
授業内容	Modal verbs や Conditionals などの文法について解説され、プリントを解く。
試験・課題等	試験は中間と期末に筆記テストが行われる。
感想を自由記入	英語で英語を学んでみるのも面白いと思ってとった授業だったが、思ったより忘れていることや新しく知ることも多くて勉強になった。先生がとても親切で優しいのでどんな質問にも答えてくれる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Survey of British Literature to 1945	イギリス文学概説(1945 年以前)
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	秋学期
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が1回
担当教授	Duflos Anne
授業内容	1945 年以前のイギリス文学(小説、詩など)の抽出部分の分析をする。
試験・課題等	ほぼ毎週、次回の授業で取り上げる文学の抽出部分を自分で分析したりプリントに書いてある質問に答えたりする課題が出された。試験は授業で学んだ文学の技法などについての質問と、初見の文学を分析するエッセイ問題に答える完全記述式で、中間と期末どちらも行われた。
感想を自由記入	イギリス文学に興味があったのでとってみようと思ったが、時間割の関係で 1945 年以前の授業しか取れなかったため、かなり自分には内容が難しく感じた。Literature Reading の授業を明治大学でとっていたため、なんとなく文学分析のやり方はわかっていたが、それでも古英語から近代英語に翻訳された 文章や聖書からの引用が多い文章など、見慣れないものばかり扱われていたため、最後まであまり掴めなかった授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Phonetics	音声学入門
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	通年
単位数	3 ECTS per semester
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+WS(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が1回
担当教授	Gauthier Vincent
授業内容	英語の音声学について、どの音がどの調音器官でどのように調音されるのか、アクセントはどのように置かれるのかなどを学んだ。シラバスに英語開講と書いてあったが、初回の授業で「留学生も受講可能だが時折フランス語で解説する」と言われ、後半の授業になると 30 分くらいフランス語で説明されるということもよくあった。
試験・課題等	秋学期は中間が記述、期末が口頭で、春学期はそれが入れ替わった。内容は主にアルファベットで書かれた英文を IPA に翻訳したり、音の調音方法と調音器官を答えたり、また音声学用語について説明を書いたりするもので、口頭試験では同じ内容を口頭で答えたり IPA を読んで実際に発音したりするものであった。
感想を自由記入	私は元々言語学が好きで明治大学でも日本語教育学(音声)を履修していたので、留学中に受けた授業で一番面白いと思った授業である。同じ音声学でも日本語と英語で全く違うため、新しく学ぶことも多かった。時折先生のフランス語が多いのが気になったが、クラスメイトの現地学生に聞いたり、自分で一生懸命聞いてなんとなく理解していたので授業に支障はなかったと感じる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
The American Short Story	アメリカ短編文学
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	春学期
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+WS(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Kemper Noah
授業内容	アメリカの短編文学を毎週読んで分析する。
試験・課題等	十数ページの短編文学が毎回学内ポータルにアップロードされるので、それを読んで自分なりに分析してくるという課題が毎週出された。試験については、ほぼ上に書いた British Literature と同じで授業内容に関する質問と分析だったが、この授業の場合は授業内で取り上げられた短編物語を複数比較して一つのテーマについて分析するというものだったため、British Literature よりも少しだけやりやすかった。
感想を自由記入	毎週それなりの文字数の文学を読むのはしんどかったが、勉強にもなったし面白かった。しかし、あまりにも意味不明なノルドストーリー的な内容の文学を分析して自分なりに解釈しなければいけなかったのが少ししんどかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
French for International Students	留学生のためのフランス語
科目設置学部・研究科	CLARIFE
履修期間	1学年間
単位数	3 ECTS per semester
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+WS(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Nicolas HECK(秋)、Olivia BEN-HAIM(春)
授業内容	テキストを用いながら、動詞形容詞の活用、前置詞の使い方などを学び、英文をフランス語訳したりペアでフランス語で会話したりした。
試験・課題等	春学期は毎週復習としてミニテストをやり、プリントが一枚宿題として課された。期末試験はリスニング含む筆記で、授業の復習と応用をする形だった。
感想を自由記入	留学生オリエンテーションの期間に受けたフランス語のテストでクラス分けがされる。秋学期は group4(下から4番目のクラス)だったにも関わらず先生がほぼ全く英語を喋れなかったため、クラス全体で先生との意思疎通がうまくいかないことが多く、あまり満足に学習を進められなかった。春学期は自動的に一つクラスが繰り上がり違う先生になったが、彼女は英語が堪能かつ毎回の授業のクオリティが高かったため、自分のフランス語にも進歩が見えた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Ethics		倫理入門
科目設置学部・研究科	ESPOL	
履修期間	秋学期	
単位数	4 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が1回	
担当教授	Manuel SÁ VALENTE	
授業内容	功利主義、社会契約主義、カント主義、徳倫理学など、色々な視点からの倫理学について、講義を受けた。	
試験・課題等	試験は中間期末とも筆記のテストで、択一式と短いエッセイで構成されている。春学期は、エッセイのテーマが10個ほどある中から3つを選んで書くというもので、選ぶテーマによっては簡単に回答できたり逆にとても文字数が必要だったり複雑になってしまったりするというようなものだった。	
感想を自由記入	ESPOL ではこの授業が一番面白かった。スライドの説明でも十分わかりやすかったが、先生がかなり詳しく例を用いながら解説してくれるため、きちんと聞いていれば問題なく内容を理解できた。また生徒が質問する場面も多く、その度に先生は丁寧に回答してくれるので、疑問に思ったことも聞きやすい。注意点としては、先生が少し早口なことくらいだと思う。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Global History		世界史
科目設置学部・研究科	ESPOL	
履修期間	秋学期	
単位数	6 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が1回	
担当教授	Victor FERNANDEZ SORIANO	
授業内容	17世紀ごろのオスマン帝国から近世後期まで、経済や文化なども合わせて歴史を学んだ。	
試験・課題等	中間試験は留学生にはなかったため、期末試験が100%だった。期末試験は択一問題と、絵や図について説明する問題、地図を分析して情勢を踏まえながら何をあらわしているかを説明する問題が出題された。決して簡単ではなかったが、きちんと勉強していれば確実に点を取れるような良問が多かった。	
感想を自由記入	日本史で受験を終え世界史にあまり明るくなかったため、このままではまずいと思い履修を決めた。先生がゆっくり丁寧に説明してくれるためわかりやすく、また歴史自体に興味があるため授業も面白いと感じた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
EU Institutions and Politics		EU 機関と政治	
科目設置学部・研究科	ESPOL		
履修期間	秋学期		
単位数	8 ECTS		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+WS(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Camille KELBEL		
授業内容	EUの各機関の役割などについて、時事を例に取りながら解説される。		
試験・課題等	毎週 article などが複数ポータルに上がり、それについての小テストが課される。また学期間で3回ほどディベートを行い、最後の回が期末試験扱いだった。		
感想を自由記入	EUについての理解があまりなかったためぜひ学びたいと思って履修した。しかし周りの学生はほとんどがEU圏出身で知識が豊富であり、先生もそれに合わせて授業を進めるのでついていくのが(特にディベートでは)大変だった。先生の英語はフランス語訛りが強く聞き取るのに慣れなかったため、授業を録音してわからない部分は後で聞き直してノートを取った。毎週の小テスト勉強やディベート準備など苦労したことも多かったが、履修して良かったと思う。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
 (例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	学内選考
留学開始年	1月～3月	留学先大学への書類提出、オリエンテーション
	4月～7月	ビザ申請・取得、航空券購入、滞在先確保
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	中間試験、期末試験、ゼミ試
留学/帰国年	1月～3月	Fall Semester 修了、Christmas Break、Spring Semester 開始、中間試験
	4月～7月	期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

最初は英語圏に留学したいと思っていたが、この機会にもう一言語習得するのも良いのでは無いかと考え、フランスに留学を決めた。リール・カトリック大学は国際色豊か且つフランス最大規模の私立大学であるということで、留学生に対する支援なども整っているだろうという思いで志望した。また、留学期間中に他の欧州諸国に旅行に行きたかったため、ベルギーやオランダ、イギリスに行きやすいリールが良いと考えた。

日常生活については、日本では体験しないようなことばかりで毎日が楽しかった。最初は戸惑ったことも、後半になれば「さすがフランスだなあ」と上手く適応してやりすごすことができるようになった。例えば FLSH の履修登録は学期開始前日に教室にてアナログ形式で行うため、全て授業を組み終わるまで 2~3 時間教室に拘束されたり、そもそも授業の時間割が公開されるのが学期開始前日なのでシラバスを見て取りたいと思っていた授業が全て重複していて一から授業を組み直さなければいけなかったり、英語開講と書いてある授業に行ってみたら先生がフランス語しか喋らななかったり、同じ授業が毎週違う教室で開講されるため週によって移動が間に合わなかったりと日本ではあり得ないことが沢山ある。しかしそのうちそういう事にも慣れてくるのでそんなに心配する事はないと思う。私はトラブルがあったらその時に考えつく最善策を取れば良いと思って過ごしていた。

学校生活については、学部によって大分色が違うように感じた。例えば ESPOL は専門的・学術的な内容の授業で、ついていくのがかなり大変だったが、FLSH はどちらかというと言語を学ぶ学部だったので、そんなに苦労はしなかったように感じる。しかし FLSH は授業あたりの単位数が少ないので、単位がたくさん欲しい人はその分授業を多く取る必要がある。

日本と違って一限などという枠組みがなく、8 時から 20 時までの間、先生の都合に合わせた時間で授業が開講される。リールはフランス最北端に位置しており冬になると日の出がかなり遅く、8 時から授業がある時は夜中のように暗い道を歩いて教室に行き、授業中にようやく朝日を見るということがあった。そうでなくても冬は日照時間がかなり少ないため、気持ちが沈みやすかった。メンタルに自信がない人はなるべく南の地域に留学することを強く勧める。

最後に、まずフランス語をある程度自由に扱えるくらいの能力を身につけておくのが望ましいということは伝えておきたい。リールは大都市といってもパリではないので、店員が英語を話せないことは珍しくない。リールの人々は優しいので助けてくれることも多いが、公共機関のオペレーター (BNP Paribas, la poste など) は絶対にフランス語でしか話さないという人が多いため、そういった場合にある程度会話できるフランス語能力があった方が苦勞しなくて良いと思う。